



託北だより「あすなろ」No.25

「和」～敬・愛・信～

令和6年4月26日（金）

熊本市立託麻北小学校

文責：小倉 秀俊



HPコード

☀️ 「未来に向かって輝きを放つ」

本年度の託麻北小学校の学校教育目標は、

「自らのよさに気づき、磨き、未来に向かって輝きを放つ子どもの育成」です。子どもたち一人一人には、必ず「よさ」があります。それに気づかせることが、教育の大切な役割でもあります。先日、ある保護者とお話しする機会があり、次のような内容の話を伺いました。「自分の子どもが低学年のころ、自分に自信が持てなくて、学校に馴染めずにいました。ある時、自分が趣味としていた絵の描き方を教えると、興味を持ち、めきめき上手になりました。それが自信となり、今では、楽しく学校に行っています。」この子どもさんは、自分のよさに気づき、「好きこそものの上手なれ」で、絵の練習に励んで磨き、今では、この特技を生かした将来までも見据えているそうです。このような輝きを放つ子どもたちが育つように、取り組んでまいりたいと思います。

また、副題として「一人一人が大切にされる『和』が いっぱいの学校を通して」としております。校訓「和」は、「信・愛・敬」を基として、これまで託麻北小学校で大切にされてきた伝統です。「心をとともに合わすてふ」と校歌の歌詞にあるように、供合の精神は脈々と受け継がれています。家庭や地域との「和」を大切にし、その「和」の中で、健やかな育ちが実現できるようご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



校訓「和」の「信・愛・敬」

コーヒープレイク



最近、皇室の愛子さまが、日本赤十字社に入社されたニュースを目にしました。学生時代にボランティアを経験され、人の役に立つ仕事がしたいと選ばれたそうです。スイス人のアンリデュナンが提唱し設立された赤十字社は、戦争にあっても、敵味方の区別なく助けるという博愛の精神のもと活動しています。日本での発祥は、ここ熊本、西南戦争の時だそうです。昔のことになりますが、北区の中学校に勤めていた時、研修で田原坂公園の管理の仕事を経験したことがあります。その時、管理人の方から、「今でも、田原坂の戦いの弾丸がみかん畑から出てくることがある。」と、実物をいただいたことがありました。100年以上前のことなのに、相当激しい戦いがあったのだと驚いたことを思い出しました。戦争がなければ、救急医療の要の一つである日赤の誕生はありませんでしたが、今後、無益な戦争で、必要とならないように願いたいものです。